

<評価について>

評価をするにあたっては、以下のような基準で行なっています

A 十分できている

B おおむねできている

C やや不十分

D 改善を要する

	自己評価の観点	項目	内容及び課題	評価
保育理念	子どもの最善の利益の考慮	子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりを大切に する保育を行っている	C
		保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している	B
子どもの発達援助	子どもの福祉を 増進することにも もっともふさわ しい生活の場	健康・安全で心地よ い生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている	B
		子どもの主体的な生 活	子どもの主体的な遊びを尊重している	B
		人との関わりを育む 環境	遊びや生活を通して、子ども同士の関係や保育士との関係が 育つよう配慮している	C
	生活と発達の連 続性	子ども観・発達観の 理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを 共有している	B
		発達過程に応じた保 育	発達過程を踏まえ、保育過程を作成し、保育している	A
		個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。 プライバシーへの配慮がされている。	C
		生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配 慮されている	A
	養護と教育の一 体的展開	乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法 が配慮されている	B
		1・2才児の保育	1・2才児の保育のための適切な環境が整備さ れ、保育の内 容や方法が配慮されている	A
		3・4・5才児の保 育	3. 4. 5才児の保育のための適切な環境が整備され、保育 の内容や方法が配慮されている	A
		小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内 容や方法、保護者とかかわりに配 慮している	A
	環境を通して行 う保育	保育の環境 ・人的環境 ・物的環境 ・空間 ・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A
			子どもが基本的に生活習慣を身につけ、積極的に活動ができ るような環境が整備されている	A
			子どもが自発的に活動できる環境が整備され、身近な自然や 社会とかかわれるような取り組みがさ れている	A
			遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	B
		環境の構成・再構成	快適な環境に整備や空間を使っの工夫している	A

保護者に対する支援	家庭との緊密な関係	子どもの成長の喜びを共有	子どもの様子について日々、保護者に伝えるなど 情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている	A
		保育内容等の説明・応答責任	入所時、個々面談、保育参観等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている	A
		子育てに関する相談・援助	相談・苦情・意見などは、随時園長・主任が窓口となり対応している	A
		保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している	C
	地域における子育て支援	保育所機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている	C
		関係機関との連携	保育所として必要な社会資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている	B
		情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている	B
保育を支える組織的基盤	健康及び安全の実施体制	健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる	A
		安全・衛生管理	安全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている	B
			施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている	A
		家庭や保健・医療機関等との連携	安全対策のために職員への共通理解、体制作りを図るとともに家庭や諸機関との連携をとっている	A
	職員の資質向上	保育の計画	全体的な計画・年間計画に基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている	A
		保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を図っている	A
		保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている	A
		研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている	A
	運営・管理・社会的責任	法令等の遵守	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている	B
		個人情報の取扱と苦情解決の責任	個人情報の取り扱いは誓約書で確認し、苦情・意見などは随時園長・主任が窓口となり解決に向けて対応している	B
		施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている	C

<総合評価>

新年度早々に子どもの人権について、法人としての基本をまとめた「子どもを尊重する保育のために」の読み合わせを行い、職員間の共通意識を高めていった。しかしながら、理由は様々あるが「子ども思い」が十分になされていないこともあった。

今年度の運動会は、本園と分園わかばと合同で初開催をした。0～2歳児を第一部、3～5歳児を第二部の二部制にて実施をした。0～2歳児の園児、保護者ともに初参加だったが楽しんで参加できたようだ。改善点等もある中で、改善をしつつ次年度につなげていきたい。今後もさまざまな感染症対策を考えつつ、行事開催を無理のない範囲で行いたい。また、分園わかば（0～2歳児）は、本園にて行う行事は天候により左右されることが多いので（移動手段等）、両園でやってもらえるように交渉したところ、ゴミ収集車は分園わかばに来社してもらえた。今後も分園わかばでも開催できるように交渉していきたい。

分園わかば（0～2歳児）のとの交流は多くもつようにしていった。特に、2歳児は3歳児クラスになると分園わかばから本園での生活を送ることになるので、職員と検討をし3月最終1週間は本園で生活を送るスケジュールを組んだ。分園わかばの職員も一緒だったので、比較的スムーズに移行できていた。

<評価について>

評価をするにあたっては、以下のような基準で行なっています

A 十分できている

B おおむねできている

C やや不十分

D 改善を要する

	自己評価の観点	項目	内容及び課題	評価
保育理念	子どもの最善の利益の考慮	子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりを大切に する保育を行っている	A
		保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している	A
子どもの発達援助	子どもの福祉を増進することにもっともふさわしい生活の場	健康・安全で心地よい生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている	A
		子どもの主体的な生活	子どもの主体的な遊びを尊重している	B
		人との関わりを育む環境	遊びや生活を通して、子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮している	A
	生活と発達の連続性	子ども観・発達観の理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを共有している	A
		発達過程に応じた保育	発達過程を踏まえ、保育過程を作成し、保育している	A
		個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。 プライバシーへの配慮がされている。	A
		生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
	養護と教育の一体的展開	乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
		1・2才児の保育	1・2才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
		3・4・5才児の保育	3・4・5才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
		小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とかかわりに配慮している	A
	環境を通して行う保育	保育の環境 ・人的環境 ・物的環境 ・空間 ・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A
			子どもが基本的に生活習慣を身につけ、積極的に活動ができるような環境が整備されている	A
			子どもが自発的に活動できる環境が整備され、身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがされている	A
			遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	A
		環境の構成・再構成	快適な環境に整備や空間を使つての工夫している	A

保護者に対する支援	家庭との緊密な関係	子どもの成長の喜びを共有	子どもの様子について日々、保護者に伝えるなど 情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている	A
		保育内容等の説明・応答責任	入所時、懇談会、保育参加等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている	A
		子育てに関する相談・援助	相談・苦情・意見などは、随時園長・主任が窓口となり対応している	A
		保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している	A
	地域における子育て支援	保育所機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている	B
		関係機関との連携	保育所として必要な社会資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている	B
		情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている	B
保育を支える組織的基盤	健康及び安全の実施体制	健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる	A
		安全・衛生管理	安全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている	A
			施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている	A
		家庭や保健・医療機関等との連携	安全対策のために職員への共通理解、体制作りを図るとともに家庭や諸機関との連携をとっている	A
	職員の資質向上	保育の計画	全体的な計画・年間計画に基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている	A
		保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を図っている	A
		保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている	A
		研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている	A
	運営・管理・社会的責任	法令等の遵守	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている	A
		個人情報の取扱と苦情解決の責任	個人情報の取り扱いは誓約書で確認し、苦情・意見などは随時園長・主任が窓口となり解決に向けて対応している	A
		施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている	B

<総合評価>

今年度は、運動会や生活発表会などの大きな行事を、新型コロナウイルス感染症拡大以前のように土曜日に開催することができ、保護者にも喜んでもらえた。また保育参加も再開し、園児と保護者が楽しめた行事になった。地域との交流はまだ保留にしているが、今後少しずつ再開していきたい。職員面談を適宜行ったり、不適切保育防止のための勉強会を毎月行い、自分たちの保育を再考する機会を多くした。配慮が必要な園児が増えたこともあり、クラスだけでなく、園全体で見守るなど当該園児や周りの園児に無理のないように保育を進めていった。苦情については昨年度に続いて今年度も職員に関する事柄が多く、周知、反省、改善をし、必要な時は個人的に指導もした。今後、保護者の要望等にできるだけこたえられるよう、職員間で話し合い、適切に支援をしていきたいと思う。また、子どもたちも楽しく過ごせるよう今後もいろいろな活動を考えていきたい。